

# ＜本学とマレーシア日本国際工科院とのジョイント・ディグリー・プログラム＞ 国際連携持続環境科学専攻の構想概要

## 熱帯アジア・モンスーン地域の諸課題解決

熱帯アジア・モンスーン地域の、水資源・水環境、生物資源・生物多様性、都市問題等に関する、地域的かつ地球規模課題の解決に貢献できる人材

途上国における諸課題を理解し、持続可能でレジリエントな未来の地域社会創生に必要な知識と技術を備えた人材

専門性、俯瞰的な視点を持ち、困難な課題に真摯に対峙し、問題を的確に解決するための対策を講ずることができる人材

## 推進すべき研究課題

### 修士(持続環境科学)

#### ディプロマ・ポリシー

- ・水資源・水環境、水災害、生態系等の諸課題に関し、理学、農学、工学、社会科学の基礎知識・技術に基づき理解・解析ができ、問題の所在に関し論理的に説明する能力を身につけている。また、フィールドにおいて問題を観測・ヒアリングする能力を身につけている
- ・環境問題に関する理解・解析に基づき、問題解決技術に関する知識を身につけている。また、技術の適用に関し想定される様々な問題を俯瞰的に考察する能力を身につけている。
- ・水資源・水環境、水災害、生態系等の諸課題の理解に基づき、社会実装可能なシステムを提言する能力、関連既存技術・政策の問題点の指摘と新たな提言をする能力を身につけている。
- ・国際的な活動の場において十分な意思疎通ができ、かつリーダーシップをとることができる。
- ・専門分野に留まらない分野横断的・俯瞰的な考え方を身につけている。

### 熱帯アジア・モンスーン地域の解決すべき課題

貴重な生物資源の保全・適切な管理

気候変動下における水・森林資源の応答理解と持続利用可能なシステムの構築

水・土砂災害を理解し中山間地の防災システム構築

工業・農業活動に伴う水・土壌汚染の実態解明と解決



環境問題山積のフィールド(マレーシア)における実践

社会実装を通じた持続可能社会の実現

工学

気候変動に伴う水資源・水環境の応答・変化問題に関し、地表水、地下水、湖沼、汚染、浄化等を理解・解析するとともに、社会実装につなげる研究が必要

農学

理学

水源地から都市域、沿岸域に至るまで、流域圏の水資源・水環境、水インフラを一体的にかつ理解し、持続可能な保全・利用システムを創生する研究が必要

社会科学